



栗原小だより

新座市栗原 1-5-1 ☎042-473-7070

H P <https://e-kurihara-c-niiza.edumap.jp/>



令和6年度 9月号

令和6年8月29日

暑いだけじゃない熱い篤い夏

校長 古澤 健史

【涼しい林間学校】

今年の夏も、連日最高気温35℃を超え、猛暑日でない日がない毎日でした。ゲリラ豪雨と落雷も多く、大変な気象状況が日本の各地で見られました。

さて、本校では、7月24日・25日に5年生が、林間学校を実施しました。林間学校を行った榛名湖周辺は、新座市より最高気温が10℃以上も低く、子どもたちは、その気候の違いを肌で感じる事ができたことと思います。榛名高原学校で初めての泊りでの集団生活やカッター実習を体験し、1泊2日のプログラムをとおして、大きく成長して帰ってきました。天候にも恵まれ、キャンプファイヤーを屋外で実施できました。栗原小の高学年として、2学期以降の活躍にとっても期待しています。



【祭で育まれる篤い人情】

今年も町会主催の夏まつりが各町会で行われました。その中でも、8月3日に本校の校庭を会場に行われた栗原一丁目町会の夏まつりは、同日に周辺でいくつも大きなお祭りが開催されていたにも関わらず、多くの方が参加されていました。実行委員の方々が、みんなが参加したくなる祭にするためには、自分たちが楽しいと思えるものではなくてはいけないと、キッチンカーや近隣業者の出店や大抽選会の賞品参加、大物ゲスト(ゾウキリン)の参加など、多くの人たちを巻き込むアイデア満載でした。

また、参加するだけでなく、運営のお手伝いにも奔走していた子どもたちにもたくさんの笑顔があふれていました。暑い中での準備や運営、後片付けにご尽力いただき

た皆様、ありがとうございました。地域を支える大人の姿を見て、自分なりにできることを頑張った栗っ子たちにより、地域の力が大きくなっていくのを感じました。地域の行事は、「地域の一人」を育む大事な機会だと思えます。8月8日には、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が出されました。巨大地震への備えがより一層求められています。祭で育まれた篤い人情の栗原地区ですが、10月5日(土)の栗原町会防災訓練で準備をさらに万全なものにしていきましょう。



【熱戦のパリ五輪】

私の夏休みは、暑さを避け、犬の散歩と読書とテレビでのパリ五輪観戦でした。多くの日本人選手が活躍しましたが、私は、スポーツクライミングの森秋彩選手がとても印象に残りました。前半のボルダーでは、身長の高い自分には不利な課題にも関わらず、不平や文句を言わず、後半のリードでは誰よりも高い所まで登り、「悔しさを持ち帰るにはいちばんいい順位なので、素直に受け止めて頑張りたいです」と語っていました。

多くの選手の活躍や頑張りに感動をもらったオリンピックでしたが、SNSによる審判に対する不平や選手に対する誹謗中傷も大きく取り上げられました。先日の新聞に徳川幕府8代将軍吉宗の制度、目安箱が引き合いに出されていました。将軍に庶民が直接意見を投書できるこの目安箱は、住所と名前の記入が必須だったそうです。通報者が守られる必要がある場面もありますが、自分の発言に責任を持つことが大事だとオリンピックから教えられた気がします。